

令和5年 第3回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、令和5年第3回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

去る、6月25日から7月1日まで、姉妹都市締結50周年を記念してフェアフィールド市を訪問してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、2年延期となっておりましたが、田原一孝市議会議長をはじめ、市民の代表7名からなる親善使節団により、訪米することができ、蕪崎フェアフィールド交流協会及び関係各位のご理解とご協力に感謝申し上げます。

フェアフィールド市では、キャサリン・モイ市長をはじめ、市議会や実行委員会等の皆様から心温まるおもてなしをいただき、先人たちが築いた半世紀に及ぶ歴史の重みを改めて実感したところであり、両市の友好の絆を一段と深めることができました。

この視察で得た経験を、今後の交流事業と各種施策に活かしてまいります。

今月10日に開催いたしました、中学生議会では、東西中学校から13名の議員が参加し、中学生ならではの目線で質問や提案をいただきました。

将来を担う生徒が政治や選挙に関心を持ち真剣に考え、しっかりと発言している姿を見て、とても頼もしく感じるとともに、いただいた意見につきましては、今後の市政運営に反映してまいります。

これからもチーム蕪崎の一員として、よりよいまちづくりに関わっていただけることを期待しております。

5日には、蕪崎中央公園陸上競技場において、7年ぶりに、2回目となる「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催し、約690人の方々にご参加をいただきました。

今回の体操会を契機に、子どもから高齢者までが生涯を通じて気軽にスポーツに親しめる環境づくりをさらに推進してまいります。

また、11日には、第5回サンライズヒル・穂坂ヤマケンカップを開催いたしました。

当日は、約280名が参加され、小学生から70代までの幅広い年代の方々、国内外で活躍するゲストラランナーとともにゴールを駆け抜けました。

今後、穂坂自然公園を核とした通年型のトレイルランニングイベントの開催により、スポーツツーリズムを通じた本市への誘客と地域の活性化を推進してまいります。

16日に開催した花火大会は、4年ぶりに夏の夜空に色鮮やかな大輪の花を咲かせ、多くの来場者を魅了いたしました。

これもひとえに、協賛していただいた企業をはじめ、蕪崎市商工会、各種団体の皆様方のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、我が国の経済状況につきましては、内閣府の月例経済報告において「景気は、穏やかに回復している」とされ、日銀甲府支店による金融経済概観でも「県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している」とした総括判断をしております。

一方で、依然として食料品や燃料等の高騰が続いていることから、今後も物価上昇による市民生活への影響などに注視してまいります。

次に、本年度の主な事業の動向と新たな取組みについて申し上げます。

始めに、子育て支援の充実についてであります。

「ベビーファースト運動」につきましては、子育てを支援する環境づくりを醸成するため、運動に参加する事業者を「赤ちゃんに優しい事業所」として認定し、来月のにらちびフェスティバルにおいて紹介するなど、地域全体にサポートの輪を広げてまいります。

また、こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか社会」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行い、この取組みの第1弾として、来月21日にこども家庭庁参与の清原慶子氏を講師にお迎えし、職員研修を兼ねたセミナーを開催することといたしました。

なお、11月には私と中学生との意見交換会なども計画しており、こども・若者の意見に耳を傾け、市民の子育てに対する気運の醸成を図ってまいります。

次に、防災体制の強化についてであります。

消防団員の定数につきましては、欠員や活動実績のない団員がいる状況を踏まえ、消防団活動を円滑に行う環境を整備するため、消防団内部での検討や各町の区長会での説明会を経て、実情に即した団員数の見直しと部を再編する条例改正案を今議会に提出しており、今後は報酬の見直しにも着手してまいります。

来月3日に予定している秋の総合防災訓練につきましては、最大震度6強の大規模地震を想定し、地区ごとに初動訓練及び情報伝達訓練を実施いたします。

今回は、蕪崎高等学校、蕪崎北西小学校及び甘利小学校において特定地区総合防災訓練を行い、地域における避難行動、市民による避難所開設と運営方法を確認するほか、災害協定を結んでおります山梨キッチンカーコミュニティの参集訓練も実施いたします。

また、防災・減災意識の向上を図ることを目的として、中田屋内運動場において、10月14日に一泊で親子避難所宿泊体験を実施することとし、テントの設営や保存食の実食等、日常との違いを体感していただき、いざという時に必要な力を養うことができる内容としてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症についてであります。

5月から開始した、65歳以上のワクチン接種率につきましては、今月21日時点で50%となっております。

来月からは、初回接種を終了した5歳以上のすべての方を対象に「XBB.1（エックス ビービー ワン）系統」に対応するワクチンを使用した接種を開始いたしますので、引き続き<sup>ゴ</sup>葦崎市医師会と連携を図り、感染予防対策を推進してまいります。

次に、医療体制の充実についてであります。

市立病院につきましては、これまで課題となっておりました会計の待ち時間をなくすため、医療費の後払いサービスを県内の公立病院で初めて導入し、患者ニーズに対応した利便性の向上を図ってまいります。

また、新たに電子マネーやQRコードなどの決済サービスを拡充するとともに、入院時の連帯保証人制度に保証会社も選択できるサービスを開始いたします。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

10月14日に<sup>ゴ</sup>葦崎駅前広場をメイン会場として、チームの仲間と楽しみながら参加できるスポーツ活動に<sup>ミ</sup>海洋ごみ問題などの環境美化活動の要素を取り入れたイベント、「スポGOMI×スポCOMI - inにらさき」を開催いたします。

また、11月3日には、<sup>ミ</sup>葦崎中央公園で400mハードルの日本記録保持者である<sup>ためすえだい</sup>為末大氏をゲストにお招きし、幼児から高齢者まで誰でも気軽に参加できる運動会、「ニラリンピック2023」を開催いたしますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

次に、公園整備の充実についてであります。

<sup>ミ</sup>葦崎中央公園につきましては、現在、複合遊具の更新とユニバーサルデザイントイレの整備を進めておりますが、さらに、年齢に関係なく、誰もが気軽にストレッチや軽い運動を楽しみ、健康づくりができる環境を整えるため、新たに健康遊具を設置する経費を補正予算案に計上しております。

次に、地域文化の創造・継承についてであります。

小林一三の生誕150周年記念事業につきましては、来月23日の茶人逸翁を偲ぶ記念茶会をはじめ、11月4日には逸翁美術館館長をお招きし、業績を紹介する特別講演会や東宝映画の上映会、12月3日には宝塚OGによる記念コンサートを開催いたします。

このほか、来月完成予定の一三翁の生い立ちや活躍を解説した記念冊子を各小学校での地域学習、また、各種関連行事において活用し、多くの市民に、その人となりと業績を広め、郷土愛の醸成に繋げてまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

フェスタ葦崎につきましては、多くの方々に楽しんでいただくため、キッチンカーなどの出店をはじめ、ダンス祭りや音楽祭のほか、ワインフェスティバルを同日に行うなど、さらに内容を充実させ、10月8日に葦崎中央公園において開催いたします。

なお、去年の課題を踏まえ、無料シャトルバスによる送迎を拡充するなど、交通渋滞対策を実施してまいります。

次に、工業の振興についてであります。

県内有数の製造品出荷額を誇る本市において、昨年からは昭和産業株式会社や株式会社ササキ、東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社がゼロカーボンなどの環境に配慮した人と自然にやさしい新社屋等を相次いで新築し、穂坂地区を中心とした工業の集積が図られております。

今月4日には、上ノ山・穂坂地区工業団地内に旭陽電気株式会社の葦崎新工場が竣工されたことから、企業立地助成金として、交付するための経費を補正予算案に計上しており、さらなる雇用と税収の増加につながるものと期待しております。

次に、地域福祉体制の確立についてであります。

10月11日に住民主体の支えあう福祉のまちづくりを推進するため、社会福祉協議会や市民団体等と協働で「にらさきの未来をつなげる、まち、ちいき、くらし」をテーマに、楽しみながら参加できるフォーラムを開催いたします。

市民一人ひとりが地域における支え合いの担い手として、「今何ができるか」を考える機会となることを期待しております。

次に、積極的な情報発信についてであります。

明年度、市制施行70周年を迎えることから、良好なブランドイメージの定着を図ることを目的としたシティプロモーションを実施し、本市の魅力の評価や独自性の発掘を改めて行っただうえで、戦略的な情報発信に努め、市内外の方々から選ばれ、愛されるまちを目指してまいります。

次に、市有財産の活用についてであります。

旧税務署跡地につきましては、今月17日に売却に係る公募型プロポーザルを行い、トヨタホームふじ株式会社を優先交渉者に選定したところであり、今後、住宅分譲地として協議を進めてまいります。

また、旧静心寮跡地につきましては、用地としての利用価値を高めるとともに維持管理経費の削減を図るため、建物の解体や分筆測量等に必要な経費を補正予算案に計上しており、今後、定住促進や子育て支援施策なども視野に入れ、利活用を検討してまいります。

次に、今議会で認定をいただき、令和4年度決算についてであります。

一般会計における歳入総額は、171億8,094万5千円、前年度に比べ、3.4%の増、歳出総額は、165億4,016万9千円、前年度に比べ、3.2%の増となっております。

歳計剰余金は、6億4,077万6千円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、5億740万9千円であります。

また、「実質単年度収支」は、6億6,156万円の黒字となっており、財政調整基金やその他特定目的基金の残高の合計は、前年度と比べて7億4,064万1千円増加しております。

なお、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」につきましては、86.7%と、前年度より0.2%改善しております。

次に、「健全化判断比率」につきましては、「実質公債費比率」が0.6%増加し、9.6%、「将来負担比率」は7.5%減少し、64.6%となり、いずれの指標も早期健全化基準を大きく下回る結果となっております。

また、特別会計につきましても、実質収支の総額が8,571万7千円となり、堅実な財政運営を行うことができました。

なお、企業会計におきましても、概ね堅実な収支状況となっておりますが、病院事業会計につきましては、医業収益の減収が影響し、純損失は1億9,115万1千円となったところであり、引き続き、安定的かつ継続的な医療の提供を目指し、経営改善に取り組んでまいりたいと考えております。

議員各位のご協力と市民の皆様のご理解に支えられ、令和4年度も健全財政を維持できましたが、なお一層、効率的な予算執行に取り組み、将来を見据えた計画的な財政運営に努めてまいる所存であります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の6月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	1件、
予算案件	4件、
条例案件	3件、
その他案件	2件、
認定案件	17件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、前年度繰越金、普通交付税等の確定に基づく歳入予算を計上したほか、定期人事異動に伴う職員給与費の補正並びに緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

先ず、議会費につきましては、定期人事異動による職員給与費など、72万円を増額補正しております。

次に、総務費であります。

令和4年度決算における実質収支の2分の1相当額を積み立てるため、財政調整基金積立金に2億5,370万5千円、旧静心寮跡地の有効活用を図るため、解体工事及び不動産鑑定等の経費として、財産管理費に9,307万6千円を追加計上するなど、総額3億3,983万3千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

公認心理士が家庭を巡回し、子どもや家族に対して、相談、助言による支援を推進するため、子ども家庭総合支援拠点運営事業費に142万5千円、令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金等国庫支出金の確定により、国庫支出金等返還金に496万4千円を計上するなど、総額579万5千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

定期人事異動による職員給与費を356万4千円減額する一方、令和4年度新型コロナウイルスワクチン接種事業費の確定により、国庫支出金等返還金に1億6,931万円を計上するなど、総額1億6,211万1千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

強風による被害を受けた果樹農家に対し、二次的被害を防ぐために散布した薬剤費等を助成する経費として、農業災害緊急支援事業費に136万4千円、県営事業費の増額に伴う市負担金の増により、県営経営体育成基盤整備事業費に2,317万5千円を増額するなど、総額2,917万6千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

定期人事異動により、職員給与費を37万円増額するとともに、市内企業の新工場建設による助成金を交付するため、企業立地支援事業費に5,707万8千円追加計上するなど、総額5,777万2千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

駅前整備に係る追加工事等の経費として、市単独道路整備事業費に777万7千円を追加計上するほか、旭町上條北割地内の急傾斜地崩落対策工事費の負担金

として、県営急傾斜地崩落対策事業費に150万円、市道（菰崎）6号線の岩下地区、上ノ山地区間における急傾斜地崩落、落石対策を早期に実施するため、岩下地区急傾斜地崩落対策事業費に1,746万9千円を増額するなど、総額3,867万9千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

消防団員安全装備品整備事業助成金の採択により、消防団員の防寒着購入経費として、消防団運営事業費に104万8千円、減災マップ作成地区の増による調査、作成作業等に要する経費として、災害対策事業費に20万4千円を追加計上するなど、総額225万8千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

菰崎北東小学校のトイレを洋式化するための経費として、小学校施設管理事業費を682万円増額するほか、私立の認定こども園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査経費として民間開発埋蔵文化財確認等調査事業費に260万4千円を追加計上するなど、総額1,516万2千円を増額補正しております。

次に、災害復旧費であります。本年5月に発生した台風2号により被災した市道の復旧工事費として、市道災害復旧事業費に1,200万円を計上しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、6億6,350万6千円を増額補正となり、現計予算額は180億2,212万8千円となります。

次に、特別会計、企業会計の補正予算案であります。

後期高齢者医療特別会計につきましては、定期人事異動による職員給与費を1万1千円増額するほか、後期高齢者医療広域連合納付金に58万円、保険料還付金に113万5千円を計上するなど、総額103万3千円を増額補正しております。

介護保険特別会計につきましては、定期人事異動による職員給与費を245万4千円減額する一方、令和4年度決算に基づく国庫支出金等償還金に8,568万円を計上するなど、総額8,561万8千円を増額補正しております。

水道事業会計につきましては、定期人事異動により収益的収入・支出それぞれ237万1千円を減額し、県が実施する道路改良工事に対する給水補償工事費等の追加計上により、資本的収入を2,337万円、資本的支出を2,654万5千円増額補正しております。



その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

さて、議員各位におかれましては、今議会が任期最後の議会となりました。

「韮崎市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例」の制定をはじめ、タブレット端末の導入によるICT化の推進など、議会改革に幾多の功績を残され、市政発展のために注がれたご尽力に対しまして、深甚なる敬意と感謝の意を表する次第であります。

また、新型コロナウイルス感染症対策における各種事業につきましては、多大なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

引き続き、市議会議員に立候補される方におかれましては、再びこの議場でお目にかかれますようご健闘を心よりお祈りしております。

ご勇退される方々におかれましては、ご在任中と変わることなく、市政に対して今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方の、ますますのご健勝とご活躍を衷心よりご祈念申し上げ、私の所信といたします。

令和5年8月31日

韮崎市長 内藤久夫